

社団法人茨城県穀物改良協会

[法人の概要]

平成19年7月1日現在

代表者名	会長 平間 敬章(非常勤)	県所管部課	農林水産部農産課	
所在地	水戸市上国井町3340番地	電話番号	029-239-6300	
ホームページURL	http://www.ib-kokumotu.jp/	E-mailアドレス	ikk-1@iris.ocn.ne.jp	
資本金(基本財産)	一 千円	設立年月日	昭和59年5月25日	
主な出資者	出資順位	出 資 者 名	出資額	出資比率
	1		一 千円	一 %
	2		一 千円	一 %
	3		一 千円	一 %
	4		一 千円	一 %
	5		一 千円	一 %
	その他	団体	一 千円	一 %
設立目的	主要農作物の原種生産及び主要農作物等の種子生産を行うほか、稲・麦・大豆・落花生及びそばの品質の向上を図るとともに、主要農作物等の生産性を高めることにより農業経営の安定及び向上に寄与することを目的とする。			

[事業の概要]

事業名	平成19年度事業費	内 容
事業1 原種苗センター運営管理事業	千円 78,950	主要農作物種子法により、県は主要農作物(水陸稲・麦・大豆)の原種を生産することが義務づけられており、それを協会が受託生産している。これにより、優良原種を生産し指定採種圃に必要な原種の安定供給に努める。
事業2 落花生栽培実証展示圃設置事業	千円 437	県内落花生の生産振興に向け、晩播栽培、適期堀取り等の実証展示ほを設置するとともに、食味格差などを比較することにより、良食味栽培技術を確立し県産落花生の品質向上に資する。
事業3	千円	

[組織]

7月1日現在の人数	平成17年		平成18年		平成19年				
	県派遣	県OB	県派遣	県OB	県派遣	県OB			
役員	常勤理事	1		1		1		1	
	非常勤理事	12		9		9			
	常勤監事								
	非常勤監事	3		3		3			
	計	16		13		13			1
職員	管理職	4	1	3	1	3	1		
	一般職	9	1	9	1	7			
	臨時職員	7		7		1			
	嘱託職員	2		2		1		9	1
	計	22	2	20	2	1		20	1
当期常勤職員の年齢構成	20代以下	30代	40代	50代以上	合計	平均年齢	平均勤続年数		
	2	4	1	4	11	40歳6月	6年5ヶ月		

[収支の状況]

社団法人茨城県穀物改良協会

(単位:千円)

区 分		平成16年度	平成17年度	平成18年度
収 支 の 状 況	収入合計	248,824	238,445	231,086
	事業収入	248,368	234,791	230,169
	事業外収入	456	3,654	917
	支出合計	228,308	221,249	207,593
	事業支出	228,308	221,249	207,593
	事業外支出	0	0	0
	うち管理費	111,311	108,354	103,817
	うち人件費	94,324	94,668	91,014
	当期収支差額	20,516	17,196	23,493
	正味財産増加額	0	0	0
	正味財産減少額	0	0	0
	当期正味財産増減額	20,516	17,196	23,493
	前期繰越正味財産	186,562	207,078	224,274
期末正味財産	207,078	224,274	247,767	
財 産 の 状 況	資産	276,921	248,422	287,483
	流動資産	276,921	248,422	271,475
	固定資産	0	0	16,008
	負債	58,206	24,148	39,716
	流動負債	58,206	24,148	23,733
	うち短期借入金	0	0	0
	固定負債	0	0	15,983
	うち長期借入金	0	0	0
正味財産	218,715	224,274	247,767	

[財的関与の状況]

(単位:千円)

区 分		平成16年度	平成17年度	平成18年度
財 的 関 与 状 況	補助金	21,783	19,667	19,293
	委託金	87,489	88,053	87,435
	貸付金			
	計	109,272	107,720	106,728
	財政的関与の割合(%)	44%	45%	46%
	損失補償・債務保証			

[平成18年度の補助金等の目的・内容等]

支 出 項 目	目 的 ・ 内 容 ・ 効 果
補助金	原種生産等に伴う運営補助金(9,589千円)及び主要農作物の生産振興と消費宣伝等に伴う事業補助金(9,704千円)
委託金	事業概況のとおり
貸付金	

[評点集計]

評価の視点	評価項目数	評点	満点	得点率
計画性	4	4	8	50.0%
目的適合性	5	8	14	57.1%
組織運営の適正性	4	8	8	100.0%
健全性	11	32	40	80.0%
効率性	7	4	26	15.4%
合計	31	56	96	58.3%

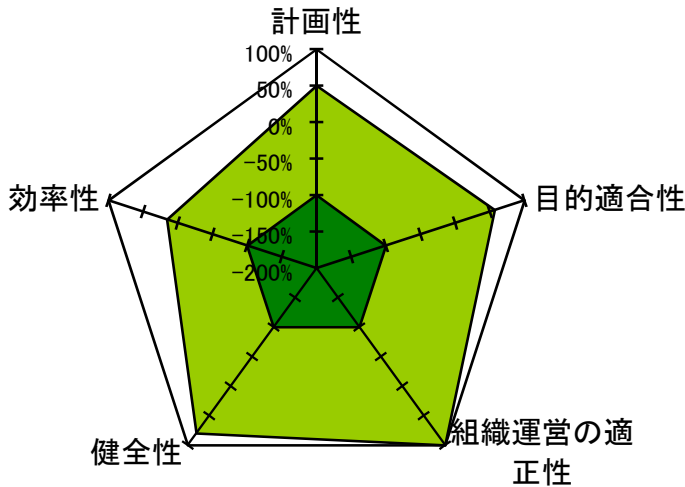
公益法人会計用

社団法人茨城県穀物改良協会

警戒指標

--

経営評価レーダーチャート



《評価の視点》

計画性	経営目的、経営方針が各種計画に反映され、計画・実行・見直しが行われているか
目的適合性	法人が行っている事業と当初の設立目的が適合しているか
組織運営の適正性	組織、人事、財務等の内部管理体制が適切に整備・運用され、かつ情報公開による透明性の確保が適切か
健全性	法人の財務体質が健全であるか、また、各事業の採算性がとれているか
効率性	組織の管理運営上における人的・物的な経営資源が有効活用されているか

各評価項目については、「出資法人等経営評価指標及び評価基準等」を参照

[法人の自己評価(経営概況, 経営上の課題・対策等)]

計画性	目的適合性	組織運営の適正性	健全性	効率性
新たな米政策改革大綱を踏まえ安全・安心な売れる米づくりを目指し需要者の要望に応えられる優良種子の生産計画数量の確保を図る。18年度は天候等の影響で計画一部作物で計画数量を確保出来なかった。	主たる事業として、米・麦・大豆の原種や種子生産事業を展開しており、採種生産面積に見合った原種生産を行っている。生産量は天候の影響で一部目標を下回ったものの採種生産に必要な生産量は確保した。	職員数及び構成については、適正な水準と思われる。業務チェック機能も、整備すべき業務規程等についても継続的に見直し整備を行い適正な組織運営に努めている。	毎年、種子更新率も向上し、収支比率も更に改善しており、健全性は保たれていると思われる。	事業計画の策定については、予算面を厳格に算定し、優良種子の生産確保に向け県採種部会協議会の設置等による種子部会の育成強化、種子センターの設備等への基盤整備の支援を行い、その執行面においても進捗管理を行い効率性を求めていく。
今後の事業展開の方向	平成19年度からの新たな施策の導入に伴い、今後の農業政策が大きく変革する中において海外輸出品との競争力のある農業経営の再構築が必要となっている。このような情勢を踏まえ、主要農作物等の品質向上と消費拡大はもとより、当協会として、主要農作物の生産に係る公益事業に継続性を持って、積極的に取り組み、採種生産農家の経営基盤の確保と優良種子の生産及び種子更新率の向上を目指し、本県農業の発展と農業経営の安定に寄与して参ります。			

[法人を担当する課の意見]

計画性		目的適合性	組織運営の適正性	健全性	効率性
茨城農業改革大綱に対応できるよう、毎年事業ごとに年次計画を策定し、効率的に優良種子の生産と安定供給ができるよう指導する。		水陸稲、麦、大豆の原種生産量は目標数量を達成しており、安定供給していることは適正である。	平成17年度より情報公開規程を制定し、財務内容・事業活動内容の開示に努めたことは適正である。今後も業務規程を見直し、構築を図るよう指導する。	収支比率のバランスはとれており、毎年連続して黒字を保ち、健全性は保たれている。	職員の削減等により、管理費を削減するなど、効率性の向上に努めている。さらに執行にあたって厳格に算定し、効率性を求めるよう指導する。
第4次行財政改革大綱の推進工程	推進事項	再編統合等の推進、組織・事業の抜本的見直し (財)茨城県農林振興公社、(社)茨城県穀物改良協会、(社)園芸いばらき振興協会の3団体の組織の統合又は管理部門の一元化について、その効果・問題点、さらには今後の県の関与の在り方について検討していく。			
		平成18年度	平成19年度	平成20年度	
	計画	農業関係3団体の組織・事業の見直し検討委員会を設置し、3団体の組織の検討又は管理部門の一元化、県の関与の在り方について検討する。	団体役員を含めた3団体組織検討委員会を設置し、組織統合又は管理部門の一元化等の実施に向けた調整をする。	組織統合又は管理部門の一元化等の実施予定	
	取組状況	組織の統合又は管理部門の一元化方向性を決定	-	-	
法人担当課の意見		経営評価の結果をうけて、経営基本方針及び情報公開規程を策定したことや、公益法人会計基準に則った経理処理や財務諸表の作成できる会計システムを導入するなどの改善に取組み適正である。今後も健全経営と安定生産に努めるとともに、種子更新率を向上させるため、関係団体と連携した広報・PR活動や巡回指導の実施、採種ほ場の確保について指導していく。			

[総合評価]

取組みを強化すべき視点	<div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="border: 1px dashed black; border-radius: 50%; padding: 5px; text-align: center;">計画性</div> <div style="border: 1px dashed black; border-radius: 50%; padding: 5px; text-align: center;">目的適合性</div> <div style="border: 1px dashed black; border-radius: 50%; padding: 5px; text-align: center;">組織運営の適正性</div> <div style="border: 1px dashed black; border-radius: 50%; padding: 5px; text-align: center;">健全性</div> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 5px; text-align: center;">効率性</div> </div>
総合的所見等	<div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 5px; text-align: center;">概ね良好</div> <div style="border: 1px dashed black; border-radius: 50%; padding: 5px; text-align: center;">改善の余地がある</div> <div style="border: 1px dashed black; border-radius: 50%; padding: 5px; text-align: center;">緊急の改善措置が必要</div> </div>
	<p>主要農作物原種の受託生産では、必要な生産量を確保し種子更新率も改善がなされているが、全国平均に比べると、まだ低位にある。</p> <p>県全体の農業改革や公益法人改革に対応するため、(財)茨城県農林振興公社、(社)園芸いばらき振興協会との3団体組織統合または管理部門の一元化について、引き続き検討を加え、社団会員の理解を得てその実現を図りたい。</p>

総合的所見等に係る対応	<p>種子更新率を向上させるため、引き続き関係団体と連携した広報・PR活動や巡回指導の実施、採種ほ場の確保について指導していく。</p> <p>(財)茨城県農林振興公社、(社)園芸いばらき振興協会との組織の統合または管理部門の一元化については、平成19年6月に設置した「農業関係3団体組織検討委員会」で検討を進めており、当面、管理部門(共通事務)一元化について、その実施に向けた調整を図っていく。</p>
-------------	--

< 社団法人茨城県穀物改良協会 から県民のみなさまへ >

一連の食品偽装事件により、農畜産物に対する安全・安心の確保が問われ、消費者への信頼回復が大きな課題となっております。このような状況の中で、当協会は、各会員(市町村穀物協会)からの種子更新計画に基づき、主要農作物の原種の受託生産を行うとともに、県内の優良な種子生産農家に委託して、生産した優良種子を県内の一般生産農家に供給しております。消費者が「良品質・良食味」を求めらる中で、本県産の農産物が県内外から高い評価をいただけるよう、当協会と致しましても、今後とも消費者の皆様安心して「買ってもらえる」農産物の供給ができるよう、優良種子の生産と主要農作物の生産振興に努めて参ります。

平成20年2月 会長 平間 敬章